

ガバナー月信 2025-2026 Vol. 1

Rotary International District 2500



**UNITE
FOR
GOOD**

よいことのために
手を取りあおう

Governor's Monthly Letter 2025-2026

Vol. 1

2025.7.1

Rotary のことを熱く語ろう！
～ Rotarian Benefits を紡ぎ、そして育むために～



写真提供：藤田光利（釧路北ロータリークラブ）

佐渡ガバナーメッセージ



2025-2026 年度
国際ロータリー第 2500 地区
ガバナー
佐 渡 正 幸
(釧路北ロータリークラブ)

皆様、こんにちは。いよいよ 2025-26 年度のスタートです。改めまして本年度RI2500 地区のガバナーを務めます、釧路北RC所属の佐渡正幸です。1年間何卒宜しくお願い申し上げます。

さて、本年度の地区スローガンを「Rotary のことを熱く語ろう!〜 Rotarian Benefits を紡ぎ、そして育むために〜」とさせて頂きました。重点目標に掲げた「会員増強」「ファンドレイジング」「ポリオ根絶活動」「青少年奉仕」のみならず、今までのロータリーのこと、そしてこれからのロータリーのこと、また其々のクラブのこと、各々のメンバーの人生のことなども含め、時に情熱 (Passion) をもって、時には厚い友情 (Friendship) をもって語り合い、地区内の多くのメンバーが、よりロータリーに対する愛情を深めていただき、一層ロータリアンとしての誇り、そしてひいては「矜持」を高めていただければと思っています。その成果が、必ずや会員の活動に対するモチベーションの高揚と、会員の増強、そして公共イメージの向上に繋がることを信念に、私の最大の目標である「地区内会員数2500名」の達成に向けて活動をしていく所存でございます。何卒、ご理解・ご協力を賜りますことをお願い申し上げます。

本年度より、会員増強 (アクトを含む)、財団・ポリオ・米山の寄付の状況を逐次に報告し、そして各クラブや分区・地区の事業、RAC、IAC、米山奨学生、青少年交換など多くのロータリーの活動を全ての会員に配信し、カラー写真や図表なども使用するなどして、より身近で分かりやすい月信を目指し、また各クラブの経費削減も考慮して、月信をデジタル配信とすることにしました。その他の会員情報についても HP を活用して発信させて頂きます。

地区内の会員の皆様とこのガバナー月信を通して、ロータリーを Enjoy していきたいと思っています。地区大会をはじめ各事業やセミナーに参画していただき、共に行動できれば幸甚でございます。1年間お世話になりますが、何卒よろしくお願いいたします。

【重点目標】

I. 会員数2500名【会員増強】の目標の達成

- ・ロータリアン10%の純増
- ・衛星クラブ、分野特化型クラブなどを含む4クラブ以上の新たな設立
- ・全ての活動が会員増強に連携している意識の統一を図る

II. 地域社会の活性及び世界の平和に繋がる【ファンドレイジング】の理解と実践

- ・年次寄付375,000\$(会員ひとり150\$)
- ・ポリオ寄付125,000\$(会員ひとり50\$)
- ・米山記念奨学金1,500万円(会員ひとり 6,000 円)
- ・地区補助金、グローバル補助金事業の積極的な実施

II. ロータリーの最優先課題である【ポリオ根絶活動】の周知と実施

- ・各クラブまたは分区にて活動の実施
- ・地区大会でのポリオデイと各活動の報告会の実施
- ・ロータリー研究会のフォトコンテストへのエントリー

II. ロータリーの組織の未来である【青少年奉仕】の拡大と充実

- ・ローターアクト会員の50%の純増
- ・ローターアクターのロータリークラブへの参画と協同奉仕の実践
- ・ローターアクト、インターアクトの活動及び各種大会の支援

お知らせ

アレツォ氏が 2025-26年度 国際ロータリー会長に。



フランチェスコ・アレツォ氏（イタリア、ラグーザ・ロータリークラブ所属）が、2025-26年度国際ロータリー会長として理事会により選出され、7月1日に会長に就任しました。

理事会は、6月8日のマリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ RI 会長エレクトの予期せぬ辞任を受け、特別会合を開きました。RI 章典と方針に基づき、理事会は、2023年8月に行われた国際ロータリー会長指名委員会によって検討された候補者の中から、新たな会長エレクトを選出しました。

2月の2025年国際協議会で発表された2025-26年度会長メッセージである「よいことのために手を取りあおう」はそのまま継承されます。このメッセージは、政治、地理、イデオロギーでますます分断されている世界において、結束する力となるようロータリー会員に呼びかけるものです。奉仕プロジェクトを通じ、ロータリーは、さまざまな背景を持つ人びと（人種、宗教、職業を超えて）をつなぎ、地域社会でよいことを行うという共通の使命のために活動します。



2025年6月22日、カルガリー国際大会にてアレツォ会長と握手を交わす佐渡ガバナー。

アレツォ氏は、矯正歯科医として個人の診療所を構えています。イタリア、ヨーロッパ、アメリカの矯正歯科協会のメンバーとして国際的に活動しています。ラグーザ県の National Association of Italian Dentists の副会長であり、National Trust for Italy の創設者であり、同団体で7年間ラグーザ県を代表しました。また、マルタ主権騎士団内の名誉と献身の騎士です。

30年以上のロータリー会員であるアレツォ氏は、合同戦略計画委員会副委員長、RI 理事、ラーニングファシリテーター、地区大会での会長代理を歴任したほか、ロータリー財団のメジャードナーおよびベネファクターでもあります。アナ・マリア・クリシオーネ夫人は、観光業界の起業家で、お二人には二人のお子さんがいます。

— 2025年6月14日



地区大会当日に
同時開催！

ポリオデー

24日(金)
16:00～

世界三大夕日で知られる釧路の雄大な景色のなか、エンドポリオの願いを込めて街中を赤くライトアップします。その様子をドローンを使ってライブ中継する予定です！

母子の健康月間に寄せて

母子の健康増進委員会

【取組概要】

2025-2026 年度 2500 地区では昨年度新設された「母子の健康増進委員会」において母子の健康を推進するための支援活動を行います。経済的な理由で生理用品を購入できない「生理の貧困」という問題が顕在化しており、女性の健康や尊厳に関わる重要な課題となっています。児童生徒の「生理の貧困」問題を解消することに寄与する事を目的として活動しています。

【活動計画】

1. 各中学校、高等学校へナプキンを配布する
2. 希望する自治体にもアンケート等を行う
3. 知識の貧困という面からも中学生・高校生を対象に「性感染症と避妊の大切さ」をテーマに講演会の実施を行う

Message

「生理の貧困」が児童生徒に与える身体的・精神的な健康状況への影響は看過できないところです。

経済的な理由などで
生理用ナプキンを十分に
購入できない、
入手できない

生理用ナプキンが
買えないから
外出できない

生理用ナプキンを
交換する回数を
減らす

トイレトペーパーや
キッチンペーパーなどで
代用する

など、生理のたびに緊張し不安な思いで過ごしている子どもたちも多く、今までは取り上げにくいテーマではありましたが、正しい知識を身に付けてもらい一人でも多くの児童生徒が安心して暮らせるよう、今年度の事業を通し各分区より意見を頂きながら、今後も児童生徒の発育に貢献できる支援を行っていきます。



2025-2026 年度
国際ロータリー第 2500 地区
ガバナーノミニージェグネート
母子の健康増進委員会 委員長
小田 衣代
(帯広南ロータリークラブ)

北海道（2500地区）のロータリー史 その1

国際ロータリー第2500地区・2025-26年度、佐渡正幸ガバナー年度が始まりました。それにしても今期は、年度直前の6月に起きたRI会長の突然の辞任には驚きました。ブラジルのマリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ氏が、RI 会長ステファニー・A・アーチック氏宛ての手紙の中で、「この辞任は、個人的な健康問題、職業上の義務、および家族の問題がきっかけで、この難しい決断に至ったが、これは私の意志によるものではありません」と、カマルゴ氏は手紙の中で述べています。

これにより緊急理事会が開催され、イタリアのフランチェスコ・アレツツォ氏が就任しました。突然の辞任に対していろいろな憶測が飛び交い、同時に、辞任反対の署名運動が立ち上がりましたが、今は静観するしかありません。

さて、今年度のガバナー月信は、佐渡ガバナーの判断で、印刷による発行をやめ、メールを配信しての発行になりました。初刊号に投稿を依頼されましたので、最近話題に上がらない地区の成り立ちについて、当時を振り返ってみたいと思います。

「人に歴史あり」そしてロータリーの地区にも、クラブにもそれぞれの歴史があります。

日本のロータリークラブは、1920年に創設された東京ロータリークラブから始まります。世界で855番目のクラブとして、翌年の1921年にRIから加盟認証されました。

最初の地区は、1928年満州・朝鮮を含む第70地区が設置され、初代ガバナーとして米山梅吉氏が就任したことから始まります。しかし、1939年第二次世界大戦の勃発に伴い、1940年に日本はRI から脱退します。

そして、終戦後1949年の復帰に伴い、全国を一つの地区として第60地区として再スタートします。1952年には第61地区に分割され、その後60, 62, 63, 64に分割され、1957年～58年、今から68年前に3桁の全国5分区（350, 355, 360, 365, 370）に分割されました。その時この地区は、北海道・東北をもって第350地区と命名されました。

1960年～61年には、北海道が独立して350地区となり、東北6県が352地区になります。その後、1970年～71年に北海道東部（現在の2500地区）が350地区、北海道西部が351地区に分割されます。

その後、1977年に日本は22の地区に分割され、その時350地区は250地区と変更になります。そして1991年、日本が31地区に分割された際、250地区は2500地区に名称変更となります。その後、2000年に35地区に分割されますが、現在は34地区になり現在に至ります。

今年度、釧路北クラブから輩出された佐渡正幸君は、当クラブ4人目のガバナーになりますが、当クラブの初代ガバナーは、釧路市内で百貨店を経営していた両角克治君です。今、私の手元に両角PDGが書かれた「想い出」と言う資料がありますので、その当時のことをご紹介します。

「1937年5月、第9回地区年次大会が札幌で開催され、日本のロータリーの創立者の米山梅吉氏が会長代理として出席された。大会は盛況で、豊平館の前庭で出席会員・家族がパノラマ写真を撮ったことを想い出す。

1938年8月（戦前）、第70地区の地区協議会が京都クラブをホストに比叡山延暦寺の根本中堂で開催され、私は釧路から、札幌からは伊藤豊次さん、小樽からは伴房次郎さん、函館から西出孫左衛門さんが同じ汽車、連絡船、そして汽車に乗り継ぎ2昼夜以上を費やして参加した。この車中の談笑は若い私にとって得難い貴重な刺激であり、教示でありました」とこう書かれてありました。若かりし頃、各都市を代表する経営者が集い、情報交換する場こそロータリーの本来の目的であり、互いに集う相手に刺激され、高い志を持つことは素晴らしい事であると私は考えます。これこそがクラブ奉仕・親睦に繋がる行為であろうかと思えます。

両角氏は「この協議会では、70地区の機構改革（裏を返せば日満ロータリー連合会の結成をRIに認めさせる）と、RIの極東駐在員を黙殺する事等、今にして思えば、勇ましすぎる主張が多かったと想います」と回想しています。やはり、戦前の日本人は、世界に自分たちの考えを認めさせるんだという意気込みを持っていたものと感じます。しかし、逆に考えれば世界の現況や情報に疎かったと言えるかもしれません。戦後日本のロータリーがRIに復帰した時の事もこう記載しています。「この時の協議会では、60地区の分割が話題になり、次の2案が考えられていた。一つは北海道と東北を一地区とし、関東と新潟を一地区として分割する案、もう一つは北海道と東京を組み合わせて1地区とし、東北と関東で1地区とする案である。札幌RCを中心とする道央各クラブの意向は、東京と縁を切ることを非常に惜別し、後者の案を主張していたのに対し、私達釧路クラブ（この頃両角さんは釧路RCに所属していましたが、釧路北クラブが創立されたときには、自ら移籍してきました）の意見は、近隣の東北と一緒に地区を構成する前案を主張した。その主な理由として挙げていたことは、①近隣との友情が阻害される。②いつまでも中央で厄介になる植民地気分であることで、1956年の仙台大会では、これに関する意見の交換があり、小林雅之さんらのご支持を得て、1957年7月から東北・北海道を一地区とする350地区が誕生し、日本5地区の時代に入ったのである」

このような経緯で、350地区は北海道全域を網羅する地区となり、その後1970年に北海道は二地区に分割されることになります。



国際ロータリー第 2500 地区

パストガバナー

〈2008-2009 年度〉

足 立 功 一

（釧路北ロータリークラブ）

地区幹事ノート

さすがのひとこと！
斬新なアイデア連発！
型破りな佐渡会長時代、
今でも忘れられません！



2025-2026 年度
 国際ロータリー第 2500 地区
 ガバナー地区幹事
 地区会員増強委員会委員長
平井 昌弘
 (釧路北ロータリークラブ)

パイオニアの背中を追って。

佐渡ガバナーとは、公私共に 16 年来的の付き合い。佐渡ガバナーがクラブ会長で私が親睦委員長だった頃の思い出です。その会長年度の前後数年、佐渡ガバナーはクラブ幹事や地区役員の他、地元の商工会議所青年部の会長なども務め、多忙を極めていました。そして会長年度に当時としては、あまりにも斬新な趣向を取り入れました。クラブ財政を見直し会費を下げて、若い世代の入会のハードルを下げようと相当に尽力したのです。まずは会費を下げるために、食事代を会費から外して各自負担にし、例会場の使用時間も短縮。活動資金の随所にメスを入れました。そのおかげもあり会費は軽減。また、若い人たちが参加しやすいよう夜間例会を増やしました。しかしながら、会員からの反発を受けることもあり、クラブ協議会が数時間に及ぶこともしばしばありました。今思えば、まさにパイオニアであると感じます。佐渡ガバナーはお酒とカラオケが好きで、スイッチが入ると、とんでもない大宴会に発展していきます。そうすると、若手会員はなるべく近くに寄らないよう気を付けているとか…最近ではガバナー年度を務め上げるため少しセーブしており、若干寂しさを感じますが、無事に年度を終えられるよう、クラブ一同支えています。



2500
地区

ガバナー補佐からの“分区便り”

【第6分区】 ゆったり揺れる特等席、馬車 BAR で味わう 6 分区の夜時間

帯広・十勝の観光自慢の一つ「馬車 BAR」を紹介します。

以前、道内数か所で開催されていた「ばんえい競馬」ですが、今現在は帯広のみで開催されています。その「ばんえい十勝」で 2018 年まで現役として活躍をしていたオスの『イケメン輓馬「ムサシコマ」(通称：コマちゃん)』が曳く馬車ツアーです。夕方から夜にかけて HOTEL&CAFE NUPKA を発着地点に帯広の中心市街地 2km のコースを約 50 分で巡るルート。馬車の一階はこだわりの室内、二階はオープンエア。ワンドリンクと地元素材のおつまみとともに馬の蹄の音を BGM に街を練り歩く、普段経験することのない体験ができます。私の体験談：馬のお鼻はプニプニ触感。駐車中の車をかわず運転技術。最初の内は照れ臭いが慣れると周りに手を振っていました。皆様も一度体験してみてください。



2025-2026 年度
国際ロータリー第 2500 地区
第 6 分区ガバナー補佐
石原英樹
(帯広西ロータリークラブ)

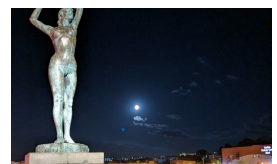
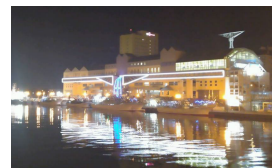
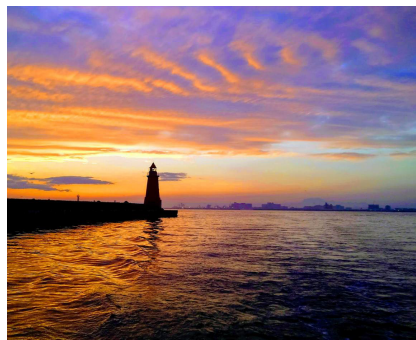
【第7分区】 夕日の街・釧路から、おもてなしの心を込めて

2025-2026 年度、私達第 7 分区は佐渡ガバナーを輩出しています。佐渡ガバナーの重点目標にもあります、2500 地区の会員数を 2500 名、全体で 10% 増強という壮大な数値目標を掲げられました。この目標に少しでも近づける様に分区全体で取り組んでいるところです。

ロータリー創立 120 周年の節目の年を 2500 地区ロータリアンの皆様とロータリー活動を心から楽しみながら行動して参りましょう。

10 月に釧路市で開催されます地区大会では、最大限のおもてなしを準備して、地区ロータリアンの皆様をお待ちしています。一人でも多くの参加をお待ちしております。

そして、わが町釧路市の自慢は、地区大会開催の 10 月以降に見頃を迎える幣舞橋からの美しい夕日。誰もが心を奪われる絶景です。



2025-2026 年度
国際ロータリー第 2500 地区
第 7 分区ガバナー補佐
平澤利秀
(釧路北ロータリークラブ)

2025-2026 年度 地区補助金申請会議を終えて

6月15日(日)釧路市において「2025-26 年度 地区補助金申請会議」を開催致しました。今年度は23ロータリークラブと2ローターアクトクラブから23件の申請があり、2500地区からも2件ありましたので、併せて25件となり、例年よりは多い申請件数となりました。

ただ同一事業の解釈の違いから1事業は、4回目と判断され、規定上受理されない事となりましたので、結果としてはクラブ提案22件と地区提案2件が承認されました。

国際ロータリー財団へは会議中にオンラインで提出しましたので、承認を待つばかりです。例年ですと承認されるのが7月中旬以降となり、地区の口座に振り込まれるのが、その後10日程掛かりますので、事業の実施は振込を確認後始めるよう充分ご留意ください。



2025-2026 年度
国際ロータリー第2500地区

地区補助金チームリーダー

本間 公三

(網走ロータリークラブ)

2025-2026 RI2500 地区補助金申請一覧

分区	継続回数	地区/クラブ	事業種類	事業名
1	1	利尻島	寄贈	利尻町内の小中学校にデジタルサイネージを寄贈
2	1	美 深	奉仕	市街地の中心にある公園に、町民と共に東屋を設置
3	1	旭川北	奉仕	地域子ども食堂、学習支援事業を通して子ども達の将来の夢を育む
	1	旭川南	奉仕	野球大会を通じ、中学生の育成(人間教育)に寄与
	1	旭川東北	奉仕	40周年記念 旭川東北RC旗争奪野球大会・バレーボール大会の開催
	1	旭川モーニング	奉仕	旭川市の川に鮭・桜鱒の産卵床を再生する事業
	1	美 瑛	奉仕	美瑛RC杯 少年野球大会の開催
	1	上 川	寄贈	地元の「認定こども園 ここふれ」に液晶テレビ等を寄贈
4	1	雄 武	寄贈	「オホーツク温泉ホテル日の出岬」への誘導看板を設置
	1	遠 軽	寄贈	遠軽町総合庁舎落成記念にデジタルサイネージを寄贈
5	1	網 走	奉仕	北見ファミリーランドへ特別支援学級の児童・保護者を招待
	1	網走西	奉仕	特別支援学級の生徒が、物作りを通して多くの学びを経験をする
6	1	帯 広	奉仕	「帯広の森はぐくむ」の環境を守り未来へとつなげる事業
	3	帯広北	奉仕	関東地区のインターアクトと交流し、リーダーとしての研鑽を積む事業
	1	帯広南	奉仕	帯広盲学校と合同防災学習を実施する事業
	1	音 更	奉仕	音更道の駅「なつぞらふる里」を花で彩る事業
	3	帯広RAC	奉仕	十勝管内の小学生から高校生の「生理の貧困」を支援
	1	芽 室	奉仕	芽室RC杯 芽室町野球少年団大会を開催
7	3	釧 路	奉仕	釧路湿原国立公園の魅力を知る・再発見する「学び」のツアー
	1	釧路北・釧路北RAC	奉仕	ウィンターパークを利用して、青少年が多様なスポーツイベントを体験
	2	釧路南	奉仕	ウィンターパーク内のイルミネーション設置や氷雪の運動会の開催
	3	白糠・釧路ベイ	奉仕	白糠町立庶路学園のロータリー植樹地の再生
地区		2500		地区内児童養護施設児童への奨学金給付
		2500		地区内「生理の貧困」支援事業

2500 地区ロータリアンが挑む、 環境問題検証プロジェクト

4月に行われた CLLS・第5分科会では、突然の問いかけに多くのご意見とご発言をいただき、参加者の皆様に感謝申し上げます。皆様の意見は今後の活動の貴重なヒントとなりました。社会奉仕活動は、ロータリアンとして地域住民の生活の質を向上させることを目的としています。特に、温暖化や環境破壊が進行する中で、地域の環境問題に対する取り組みは急務です。佐渡ガバナーは、環境問題に真剣に向き合う必要性を訴えており、私たちの活動の一環としてこの課題に取り組むことが求められています。

【佐渡ガバナーとの対話における重点事項】

- ・各地域が直面している環境問題を把握し、ロータリアン同士で情報を共有して機運を高め、奉仕活動に活かします。
- ・ローターアクトを含む 50 歳以下の若手委員会メンバー11名による実働的な活動を通じて、奉仕の喜びと情熱を広め、会員増強を目指します。
- ・ロータリアン以外の方々も参加出来る事業を展開し、公共イメージの向上やファンドレイジングの強化を図ります。

これらの取り組みが地域社会に貢献し、持続可能な未来の実現に繋がることを期待しています。

【活動予定内容】

- ・令和7年7月 委員会メンバーとの ZOOM ミーティング
- ・令和7年10月 釧根地区海浜ゴミ拾い
- ・令和8年2月 環境問題セミナー
- ・令和8年6月 7・8分区海浜ゴミ拾い

道東でも盛んな昆布漁。
温暖化などの影響で漁獲量が
ピーク時の 1/3 になっているのは
ご存知ですか？

他にも酪農や畑作など、
その地区ならではの問題があるはずです。
新年度は、身近なことからでも
考えてみませんか？



2025-2026 年度
国際ロータリー第 2500 地区
社会奉仕委員会
委員長
山 岸 弘 典
(釧路北ロータリークラブ)



写真：2025 年 6 月 10 日付 釧路新聞より

RI2500地区ローターアクト 地区ターゲット「イロドリ」

地区 RA 重点目標

【会員増強分野】

- ・ 2026年6月末の地区内ローターアクト数を100名以上とし、地区内ローターアクト数の純増率を50%とする
- ・ ローターアクトが入会候補生であるインターアクトと交流の推進

【End Polio Now 分野】

- ・ 地区内ローターアクトクラブによるポリオ根絶に向けた活動の推進をし、2025年10月24日までの地区内のRACでポリオプラス基金の募金総額400,000円を目標とする

【活動分野】

- ・ 各地区RA行事の参加率を地区内ローターアクト数の50%以上とする
- ・ 全国ローターアクト大会並びにラーニングセミナーへの参加推進
- ・ 地区内クラブのファンドレイジング事業の推進
- ・ ローターアクトのロータリークラブへの参画と協同奉仕の実施の推進

【活動予定】

- ・ 2025年10月4日 地区協議会 釧路市 ホストクラブ：釧路北RAC
- ・ 2025年11月1日 北海道RA交流会 帯広市 ホストクラブ：帯広RAC ※当行事は第2510地区との合同行事となります。
- ・ 2026年4月25日～26日 全国ローターアクト大会 東京都 ホスト地区：第2750地区ローターアクト
- ・ 2026年6月6日 地区大会 富良野市 ホストクラブ：富良野RAC

地区ローターアクト代表メッセージ

地区ローターアクト代表を拝命致しました西田脩人と申します。コロナ禍の2021年7月に富良野ローターアクトクラブに入会をし、アクト歴5年目を地区ローターアクト代表として迎えることとなり、諸先輩達が築き上げてきた当地区のローターアクト代表への就任は不安に思いつつも地区の発展に向けて活動ができることへのやる気が日に日に高まってきています。

2025-2026年度の地区ターゲットは所属をしている全てのクラブや会員それぞれが持っている「個性」や「強み」という名の色を最大限に発揮して頂きたいという思いを込めて「イロドリ」とさせて頂きました。

今年度は毎年開催をしている地区協議会・北海道RA交流会・地区大会の他に第2610地区での国内研修やインターアクトクラブとの交流、ポリオ根絶に向けての取り組みも強化をしていく他、様々な企画を準備しているところであり、年度終りの来年の6月には「1年楽しかった!」と、言って頂けるように地区RA役員一丸となり頑張って参ります。

今年の11月に23歳になる未熟者ですが、ロータリアン、ローターアクトの皆様と熱く語り合いながら地区の発展に努めて参りますので、1年間ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

2500地区ローターアクト概況

会員数 73名 (2025年4月末現在)

会員増強推進チームを設置し、佐渡ガバナーが掲げられました「ローターアクト会員の50%の純増」の達成に向けて会員増強をして参ります!



地区ローターアクト代表
西田脩人

(富良野ローターアクトクラブ直前会長)



〈第7分区〉心をこめたおもてなしと食の街、釧路

グルメ&ナイトスポット特集

ザンギと炉ばた発祥の街、釧路。それに自慢のラーメン・そば・スパカツ3大麺！

もちろん、旬の魚介と旨い地酒も楽しめる！せっかく釧路来たんなら、よってったらいいっしょ！

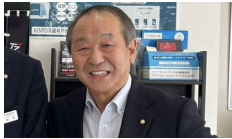
2025年10月、地区大会でお待ちしております。



郷土料理 くしろ駒形家
白幡 博(釧路RC)

地元産の鮮魚やブランド豚、黒毛和牛すき焼き・しゃぶしゃぶなど旬の味覚と地酒が楽しめる落ち着いた和空間。

釧路市栄町6丁目2番地
(栄町公園横)
0154-24-4568



[詳しくはコチラ](#)

炉ばたキッチン RICASA (リ・カーサ)
坂入 信行(釧路北RC)



炉ばた焼き × 釧路産旬魚が自慢。掘りごたつやカウンターでくつろげ、洋食メニューも人気です！

釧路市栄町425
MTヒルズビル1F
0154-24-0041



[詳しくはコチラ](#)

焼肉ホルモン くしろ肉酒場 金ちゃん
邵 龍珍(釧路RC)



全席サワーサーバー完備で1時間 550円飲み放題、リーズナブルで本格焼肉、絶品ホルモンが味わえる人気店！

釧路市末広町23
第15エーワンビルPremium 1F
0154-64-1129



[詳しくはコチラ](#)



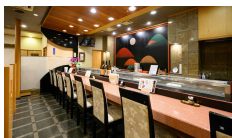
ろばた 鱗
後藤 公貴(釧路RC)

1975年創業の老舗炉端焼き。囲炉裏が見渡せるカウンターで地元産魚介の炭火焼きを堪能、個室もあり宴会利用にもおすすめ。

釧路市末広町2-24
0154-22-4001



[詳しくはコチラ](#)



八喜寿司(はっきすし)
田中 弘明(釧路RC)

地元の旬素材と熟練の技が光る寿司と創作料理。落ち着いた和空間で、一貫ずつ選べる気軽さも魅力です。

釧路市栄町49
第16エーワンビル1F
0154-31-3773



[詳しくはコチラ](#)



紅衣(べにい)
澤山 理恵(釧路南RC)

赤を基調とした広々と落ち着いた空間。カウンターやVIPルームも完備し、団体利用にも最適な上質ラウンジです。

釧路市末広町5-13
オリエンタルプラザ3F
0154-23-4107



[詳しくはコチラ](#)



スナック かおり
舩屋 かおり(釧路北RC)

落ち着いた雰囲気のカスタが迎える、大人が楽しめるスナック。ワイン好きのママとの会話をお楽しみください！

釧路市末広町5-13
オリエンタルプラザ6F
0154-64-1515



[詳しくはコチラ](#)



Carnet (カルネ)
東 湊子(釧路北RC)

今年6月に移転し店内が広々と一新。8階からの夜景を眺めながら、ゆったりと過ごせます。団体様大歓迎です！

釧路市末広町5-13
オリエンタルプラザ8F
090-9751-3795



[詳しくはコチラ](#)

新しいガバナー月信、編集中！

担当者、関係者からちょっとひとこと。



編集委員長

阿部 寿朗

確かな情報を的確に発信することを心がけながら、新しいカタチのガバナー月信を皆様と共に創っていただけたらと思います。ご意見・ご感想もぜひお寄せください！



編集委員・表紙写真担当

藤田 光利

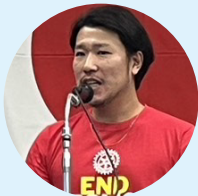
ガバナー月信の配信に関わることができて恐悦至極に存じます。動物写真や風景写真の撮影が趣味ですので表紙の写真はお任せ下さい！一年間頑張ります、宜しくお願いします。



編集委員

根本 歩

一年間、ガバナー月信の編集に携わってまいります。日刊紙発行を生業としておりますので、間違いの無いようしっかりと校正いたします。が、ヒトがやることですので時にはご容赦ください。何卒よろしくお願い致します。



編集委員

佐々木 浩

今年度のガバナー月信の編集を担当させていただくことになりました。ロータリーの理念や皆様の活動の魅力がより多くの方に伝わるよう、誌面づくりに努めてまいりますので一年間よろしくお願い致します。



RI 第 2500 地区 地区事務所

山岸 奈々

今年度も引き続きガバナー事務所の補佐をしてまいります。至らぬ点が多々あるかとは思いますが、皆様どうぞよろしくお願い致します。



RI 第 2500 地区 2025-2026 年度 ガバナー事務所

谷口 栄子

不慣れなことも多々ありますが、各クラブの情報をもとに地区の今を発信し、微力ながら佐渡ガバナー年度を支えてまいります。よろしくお願い致します。

国際ロータリー第 2500 地区 2025-2026 年度 ガバナー事務所

〒085-0017 北海道釧路市幸町 5 丁目 6 番 8 号 大進ビル 2F

TEL : 0154-65-1841 fax : 0154-65-9943 E-mail : ri2500@helen.ocn.ne.jp